

自宅改装し 洞窟資料館

大阪経済法科大学名誉教授の沢勲さん(70)が先月中旬、大阪市西淀川区野里1の自宅の一部と隣の別宅を改装して、火山の噴火などによってできる洞窟について資料館「洞窟情報サロン」を開設した。02年度から7年間、同大学で「洞窟学」というユニークな講座を持って

たが、今年3月に定年退職したのを機に設けた。沢さんは「洞窟には地球の謎を解くカギが潜んでおり、人類の歴史にも深くかかわっています。市民、とりわけ子どもたちの夢と知的好奇心をかき立て、愛される場になってくれたら」と話している。

【堀田恵昭】

大阪経法大 名誉教授 沢勲さん

同サロンには、火山 展示。洞窟内の様子や性洞窟の写真約300 火山、溶岩などが理解点のほか、火口、溶岩 できるよう工夫を凝ら流、紡錘形火山弾などした。専門知識が必要の模型、解説パネルな ため、模型は大半がど総計約1000点を 自作という。

沢さんは、工学博士として大阪経法大で情報科学論を講義してきた。その一方、1966年から43年間にわたる米、中、豪など7カ国の火山性洞窟約300カ所をフィールドワークし、洞窟学を講義。

子どもに夢と好奇心を 写真や模型など1000点

西淀川

大阪経法大名誉教授の沢勲さんが開設した「洞窟情報サロン」。子どもたちの夢と好奇心をかきたてられればと話す。大阪市西淀川区野里1で



受講した学生は400 拠点が必要だ」との思0人を超える。今年4 月から、客員教授と 法人「洞窟環境NET して学生たちに教えて 学会」も設立した。

同サロンの見学は 無料だが、事前につ

アクセス(06・6471・6900)かEメール(sawaisao@nifty.com)での申し込みが必要。また、遠くの人のためにホームページ(http://www.sawaisao.c om/)も開設している。